

福生の**公共** **施設** **ハコ** **モノ** を考えよう

# 令和6年度 地域懇談会実施報告書



令和7年2月  
福生市企画財政部公共施設マネジメント課



## 目次

1	事業の概要	1
2	作品完成までの道のり	2
3	ファシリテーター講評	6
4	作品展示について	8
5	令和6年度地域懇談会作品	10
6	展示パネル	22
7	投票パネル	24
8	さいごに…	29

## 1 事業の概要

福生市では公共施設を利用されている方をはじめ、広く市民の皆様と、今後の公共施設について意見交換をするため、令和元年度より地域懇談会を開催しています。

令和5年度地域懇談会では「ふっさっ子が考える未来の学校～こんな学校があればいいな～」をテーマとして、学校施設を現在使用している児童生徒による「ユーザーの視点」に基づいた様々なアイデア等を出してもらいました。

令和6年度は「ものづくりの視点と学校施設」をテーマとして、ものづくり産業の未来を担う生徒の「つくり手としての視点」による学校施設を検証しました。日頃の活動でも「ものづくり」を実施している都立多摩工科高等学校ハンドメイド部が「未来の学校施設」の模型を制作しました。

作品制作に当たり、ワークショップを全4回開催いたしました。

令和5年度及び令和6年度の地域懇談会の作品は、福生市民文化祭及び福生市役所にて展示を行いました。

### 令和6年度地域懇談会ワークショップについて

P2～P5を御覧ください。

開催日		場所	参加人数
第1回	令和6年7月11日(木)	都立多摩工科高等学校	ハンドメイド部員 22名
第2回	令和6年7月30日(火)		
第3回	令和6年8月7日(水)		
第4回	令和6年10月17日(木)		

### 【ファシリテーター】

小澤 はる奈 氏

【経歴】NPO法人環境自治体会議環境政策研究所理事長・元福生市基本構想審議委員・  
元福生市公民館運営審議会委員

※令和元年度から地域懇談会のファシリテーターを務めていただいています。

### 作品展示について

P8～P9を御覧ください。

展示場所	期間
福生市民会館	令和6年11月2日(土)～11月4日(月) ※福生市民文化祭期間中に展示
福生市役所	令和6年11月8日(金)～11月25日(月)

※上記以外にも令和6年度地域懇談会作品については、多摩工科高等学校文化祭(10月26日、27日)にて展示をしました。

## 2 作品完成までの道のり

### 【第1回ワークショップ】

日時：7月11日（木） 15時30分～16時30分

#### ◆当日の概要◆

市より令和6年度地域懇談会について、今回制作してもらいたい作品の条件を説明し、続いてファシリテーターより令和5年度の地域懇談会について説明していただきました。

その後、ハンドメイド部員が4班に分かれ、各班ごとに「令和5年度地域懇談会のアイディアの中で取り入れたい機能」及び「新たに取り入れたい機能」について考え、発表しました。発表後、ファシリテーターと意見交換を行いました。

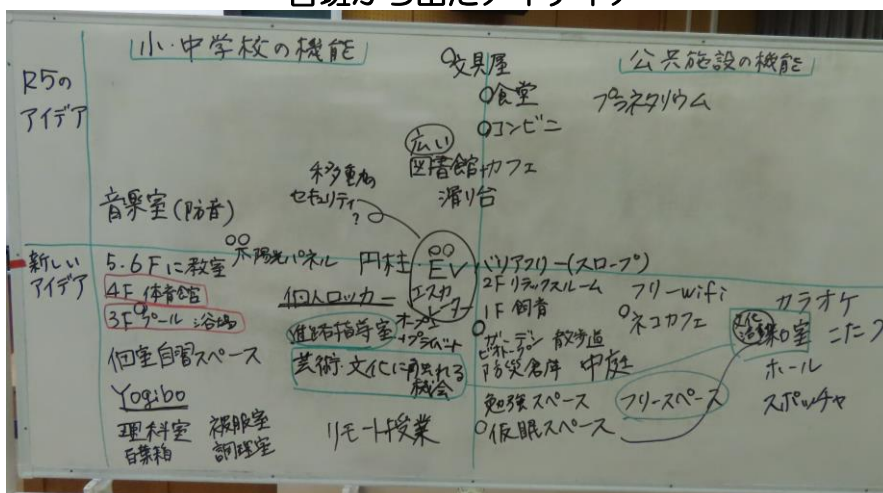
#### 制作してもらいたい『未来の学校施設』の条件

「小学校の機能」、「中学校の機能」、「小・中学校とまとめることができる公共施設」がまとまった学校施設（複合施設）

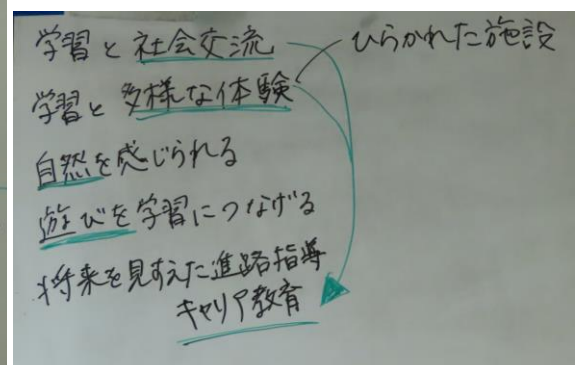
### ワークショップの様子



### 各班から出たアイディア



意見交換により導いた学校施設で大切にしたい視点



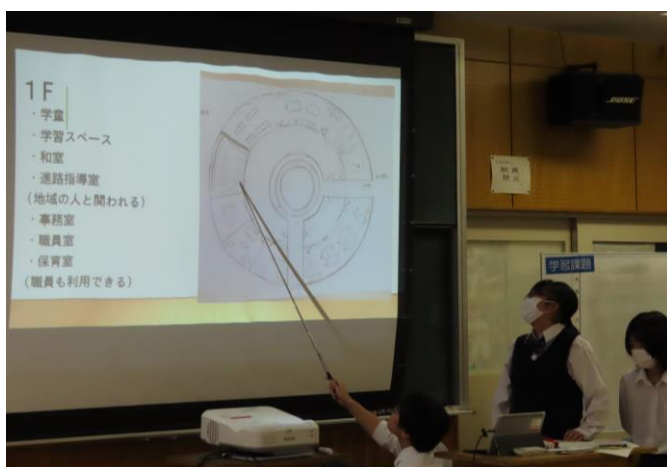
## 【第2回ワークショップ】

日時：7月30日（火） 14時～16時

### ◆当日の概要◆

第1回ワークショップの内容を踏まえ、ハンドメイド部より未来の学校施設の案について発表しました。発表後、ファシリテーターと意見交換を行い、「学校施設に必要な機能」や「児童・生徒たちや地域の方々との施設の中での動線」等の確認を行いました。学校施設のイメージを深める形での修正案を作成することとなりました。

### 発表及びワークショップの様子



## 【第3回ワークショップ】

日時：8月7日（水）14時～16時

### ◆当日の概要◆

ハンドメイド部より修正した学校施設の案を説明してもらいました。図面を確認しながら、学校施設のイメージを共有しました。

### 修正した学校案の確認



### 図面を重ねて各階のイメージを共有



## 作品（模型）制作の様子

第3回ワークショップ後より本格的に模型の制作を開始しました！

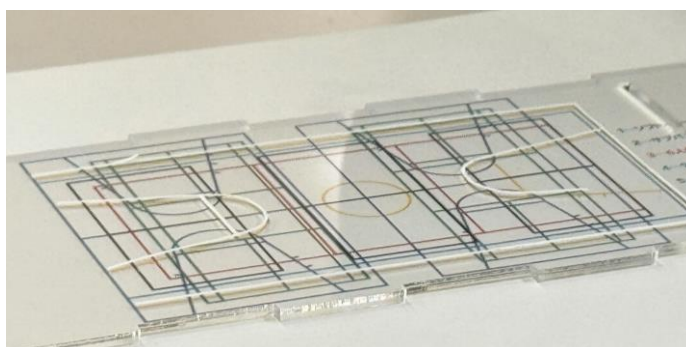
模型の組み立て等作業の様子



児童・生徒用の机・椅子



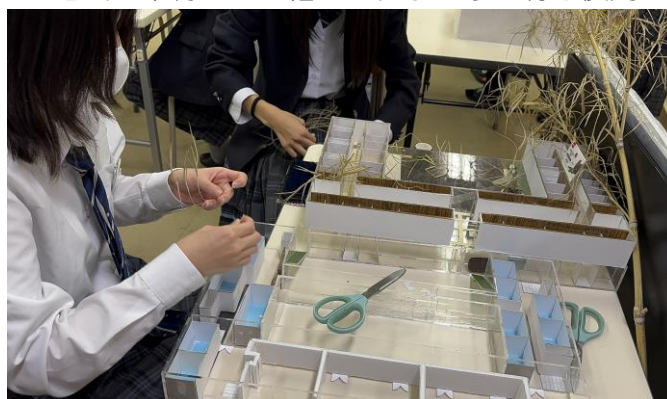
バスケットコートはマスキングテープで制作



カフェの机・椅子



地域の素材として福生七夕まつりの竹を使用



ものづくりを体験して高校の部活動を体験してみよう！

8月23日（金）に多摩工科高等学校主催で実施した「ものづくり体験教室」では参加者の小学生に「学校施設に取り入れたい機能」などの聞き取りを行い、校庭の遊具などを作品（模型）に反映しました。

## 【第4回ワークショップ】

日時：10月17日（木）15時30分～17時

### ◆当日の概要◆

ハンドメイド部より、制作した「未来の学校施設」の模型について説明してもらいました。次に、市参加者からの感想及び意見交換を行い、最後にファシリテーターより講評をいただきました。

作品紹介



作品観覧時間



ハンドメイド部との意見交換の様子



市参加者として菊地企画財政部参事、豊嶋公共施設マネジメント課長からは行政の視点で、田村企画財政部主幹、堀込公共施設グループリーダーからは建築の視点での感想がありました。最後にファシリテーターから講評をいただきました。



### 3 ファシリテーター講評

今年度の地域懇談会は、前年度に実施した小学生・中学生・高校生によるワークショップの成果を引き継ぎ、未来の理想の学校を形にするという、今までにない形式の試みでした。

第1回目のワークショップでは、前年度のワークショップ成果である8作品に共通していた機能や発想、過去の大人向けワークショップで良く言及されていた内容などを紹介し、8作品を下敷きとして自分たちなりに小・中学校に欲しい機能、公共施設として必要な機能を出し合っていました。新たなアイデアも数多く出され、その中から複数のメンバーが賛同する機能を必須として、施設の構想を組み立てることにしました。



さらに、アイデア出しの中で「なぜその機能が欲しいと思ったか？」を掘り下げていくと、新しい学校像の中で大切にしたい視点として

- ✓ 学習と地域社会との交流が両立すること
- ✓ 学習と多様な体験が可能な場であること
- ✓ 自然を感じられること
- ✓ 「遊び」を学習につなげられること
- ✓ 地域社会（大人）との交流や様々な体験を、進路選択に活かすこと

といったポイントが浮かび上がってきました。これらをキーコンセプトとして、以降の作品作りの軸にしていくことにしました。

第2回目には、前回の話し合いをもとに描いたスケッチのプレゼンテーションがありました。円筒形の建物に欲しい機能を詰め込んだ斬新な学校の姿が提案されました。スケッチをもとに意見交換をしていくと、採光や動線、建築費やメンテナンスに関する課題が見つかりました。こうした課題を踏まえた修正案として第3回目に提案されたのは、前回とまったく異なる形状の、コの字・階段状の建物でした。校庭や体育館の配置、小中学生向けの学校エリアと公共施設エリアの分けなどが良く考慮されたものでした。各階の平面図を重ねながら確認し、エレベーターや階段、水場の位置なども調整し、立体模型の制作に移っていただきました。

第4回目では、完成形に近い状態の立体模型と、各階の平面図、立面図が紹介されました。各部屋の配置（水平・垂直）や部屋の広さなどそれぞれに理由があり、設備のサンプ

ルも丁寧に作りこまれたものでした。学校を核とした複合施設の一つの理想像として、多くの方に希望を見出してもらえそうな施設に仕上げていただいたと思います。

模型作りの中心になったのは、ハンドメイド部1年生部員であったと伺いました。1、2回目に発言していたのはほぼ上級生でしたが、回を重ねるごとに1年生が直接発言する機会が増え、第4回目には自信を持って作品をプレゼンテーションしてくれていました。また、1回目に出ていたアイデアの多くが、現役学生として自分たちが欲しいと思う機能・設備であったのに対し、検討を重ねる中でそれらが取捨選択され、多様な世代、様々な背景を持つ利用者にとっての利便性が考慮され変化していったことが、非常に印象的でした。施設の模型づくりを通して、関わったメンバーの中に、公共施設に集う様々な人たちの事情に思いを寄せる姿勢が育まれていったように感じられました。

これまでの地域懇談会では、あくまで施設利用者の目線で様々な「欲しい」機能について検討を深めてきました。今回は作り手の視点から俯瞰的に施設をとらえることで、結果として、バリアフリー・インクルーシブの視点が大きく盛り込まれた、人にやさしい施設になったと思います。全4回のワークショップの展開、メンバーの変化から、公共施設を考えることが地域の人々の暮らしそのものを考えるきっかけになるのではないかと考えさせられました。

難しい課題に挑戦してくれた多摩工科高等学校ハンドメイド部のみなさん、生徒を献身的にサポートして下さった先生方に、厚く御礼申し上げます。



## 4 作品展示について

令和5年度及び令和6年度の作品について、福生市民会館及び福生市役所にて展示を行いました。

展示パネルの中で「学校施設との複合化に適している施設」や「小・中高校生が考えた未来の学校施設でぜひ実現してほしいアイデア」について、投票を実施しました。

### ◆ 市民会館 ☆福生市民文化祭期間中に展示☆

展示期間：令和6年11月2日（土）～11月4日（月）まで

展示場所：大ホールホワイエ

令和6年度地域懇談会作品



令和5年度地域懇談会作品



投票パネルとモニター



モニターに令和5年度地域懇談会の動画を上映しました。

## ◆ 福生市役所

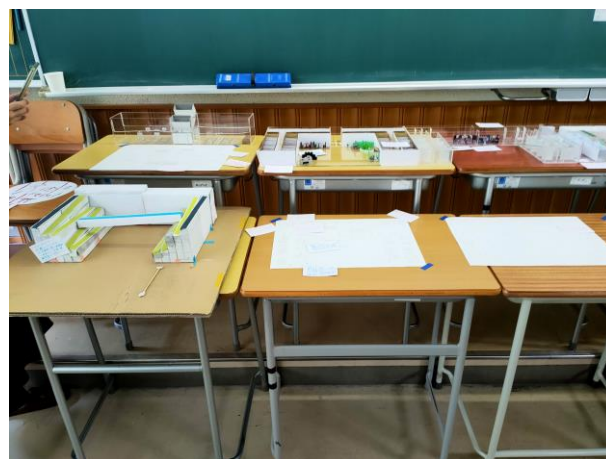
展示期間：令和6年11月8日（金）～11月25日（月）まで

展示場所：1階ロビー（課税前スペース）



市役所での展示の様子。ハンドメイド部の皆様が見に来てくれました。

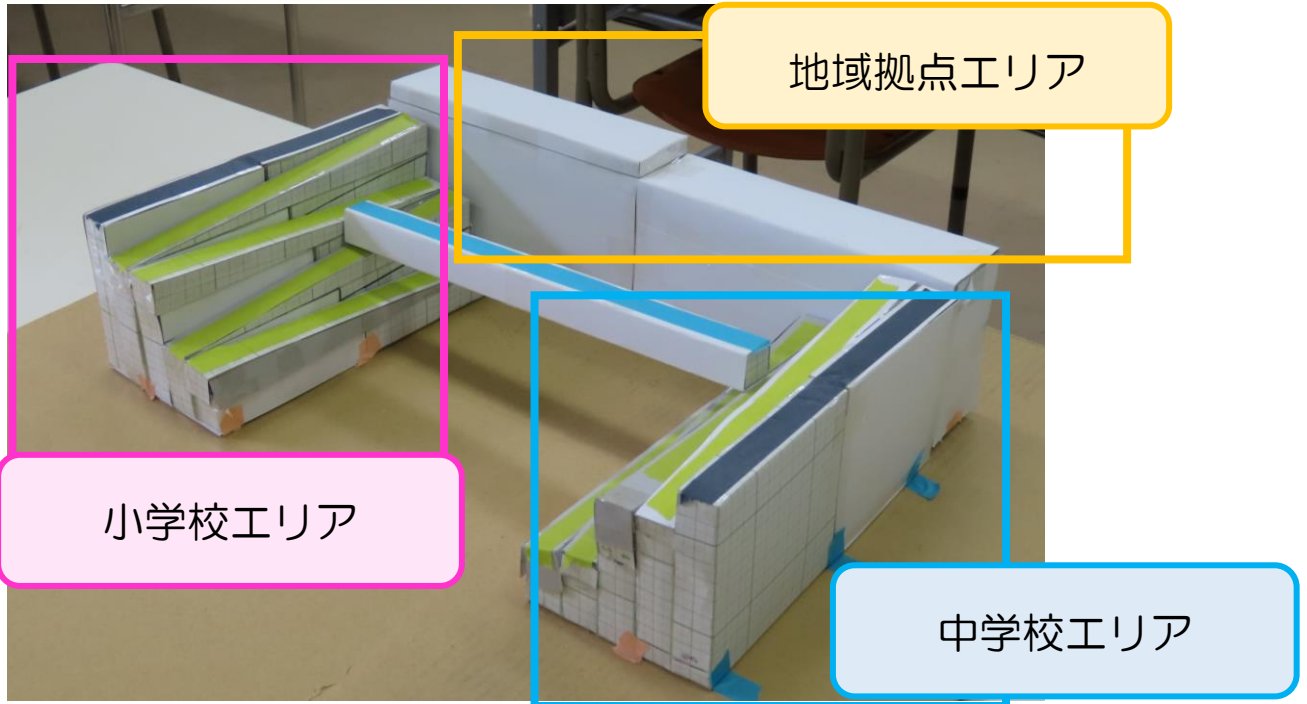
## 多摩工科高等学校文化祭（秋涼祭）での展示の様子



多摩工科高等学校文化祭にて展示を行い、たくさんの生徒や保護者に見ていただきました。

## 5 令和6年度地域懇談会作品

### 作品（模型）について



☆地下2階から5階までの小中一貫校の建物で、  
左側が小学校、右側が中学校、中央が地域の方も利用できる施設があるエリアになっています。

☆次のページ以降（P11～P21）からは各階の図面と実際の模型の写真となります。

### 完成した作品（模型） ☆各階を重ねた全体像☆

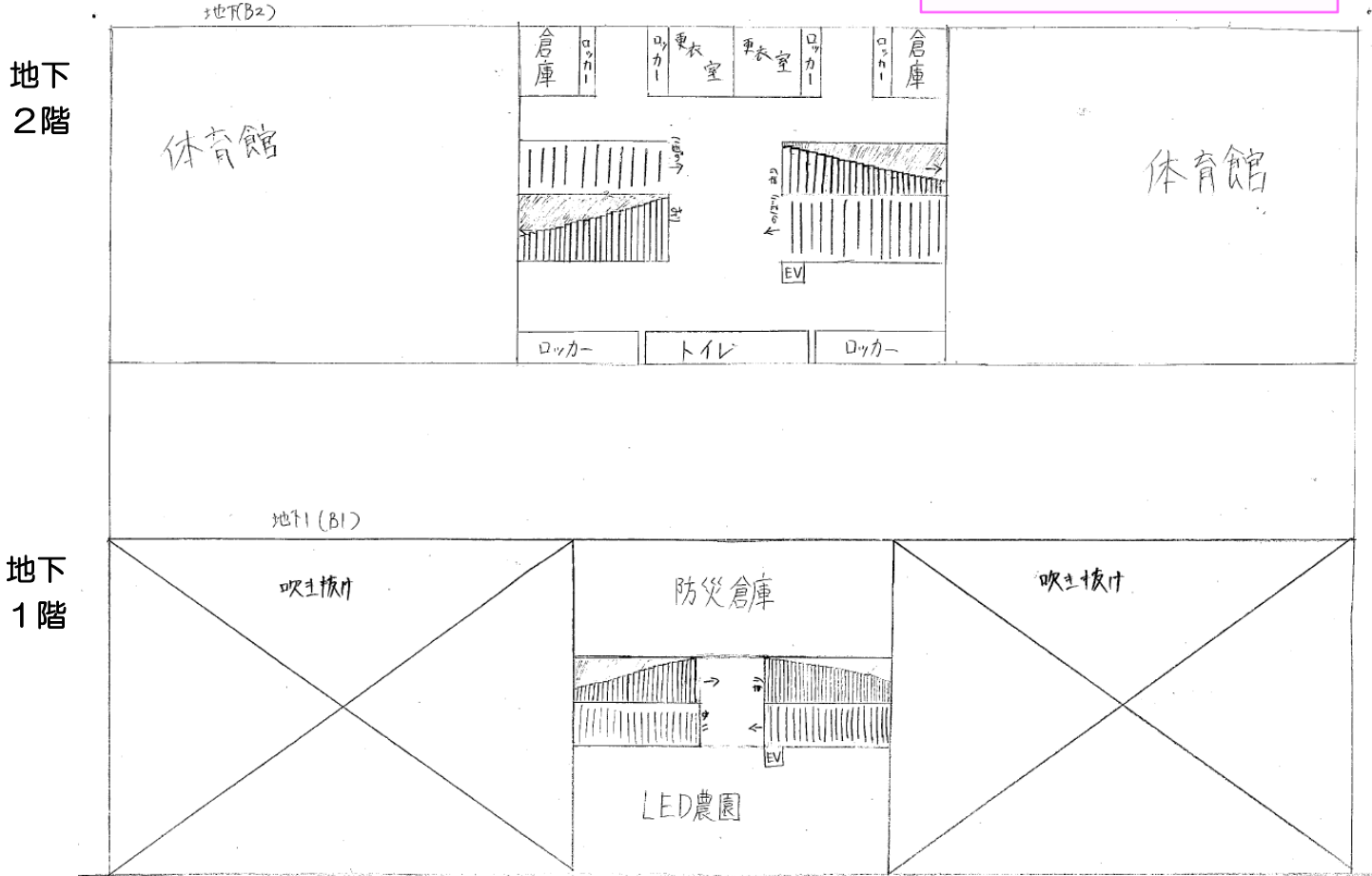


# 各階の図面と模型

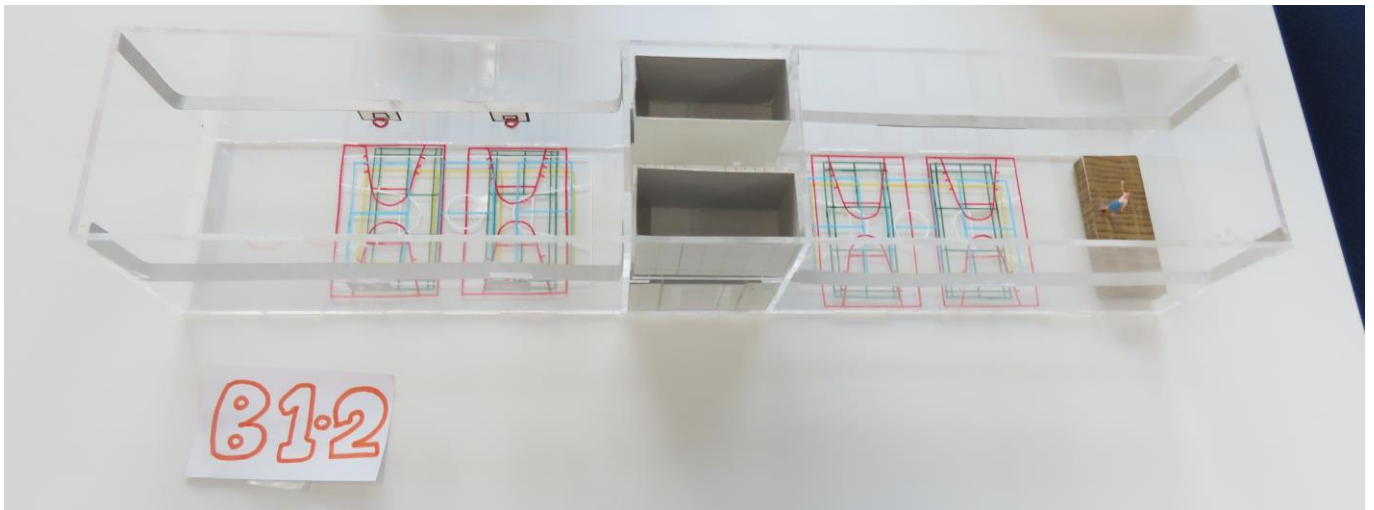
★ハンドメイド部が考えてくれたこだわりポイントをメモで入れています★

地下

体育館は地下にすることで自然災害や有事の際に避難所としての運用を想定しています。



直売所（1階）ではLED農園で作ったものと地域の農産物を置くことで地域とのつながりを意識しています。

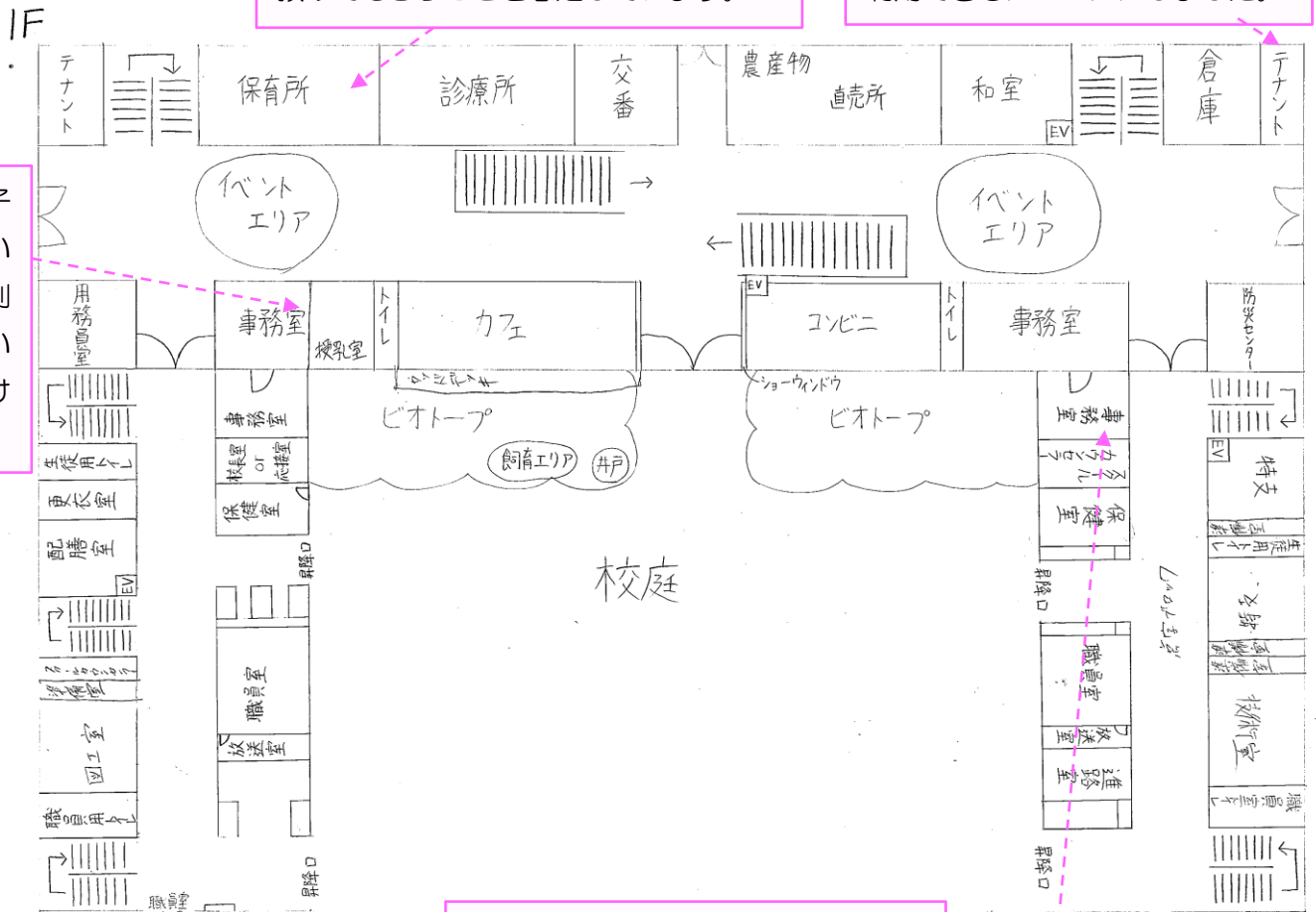


# 1階

保育所は地域の方や利用者のお子さんを預けてもらうことを想定しています。

地域の方がお店の出店を短時間で利用できるスペースにしました。

授乳室は子育てしている母親が利用しやすいように設けました。



緑化した場所にウッドデッキを設けることで、自然の癒しを感じながら過ごせる空間にしました。

校舎をコの字にし、校庭を囲む設計にすることで、どこからでも眺められるようにしました。また、防犯対策や暴風対策も兼ねています。

事務室は市役所の簡易的な機能を有することを想定しています。

壁は自然を感じられるように竹のバンブー材でできています。



## 校庭



## 点字ブロック

点字ブロックを設置しました。  
また、小さい子どもでもわかる  
ように各フロアごとに点字ブ  
ロックの床面の色を変えました。

## 保育所

保育所には子どもたちが遊べるように、  
壁の半分はホワイトボード、もう半分は  
シールを貼れる壁になっています。

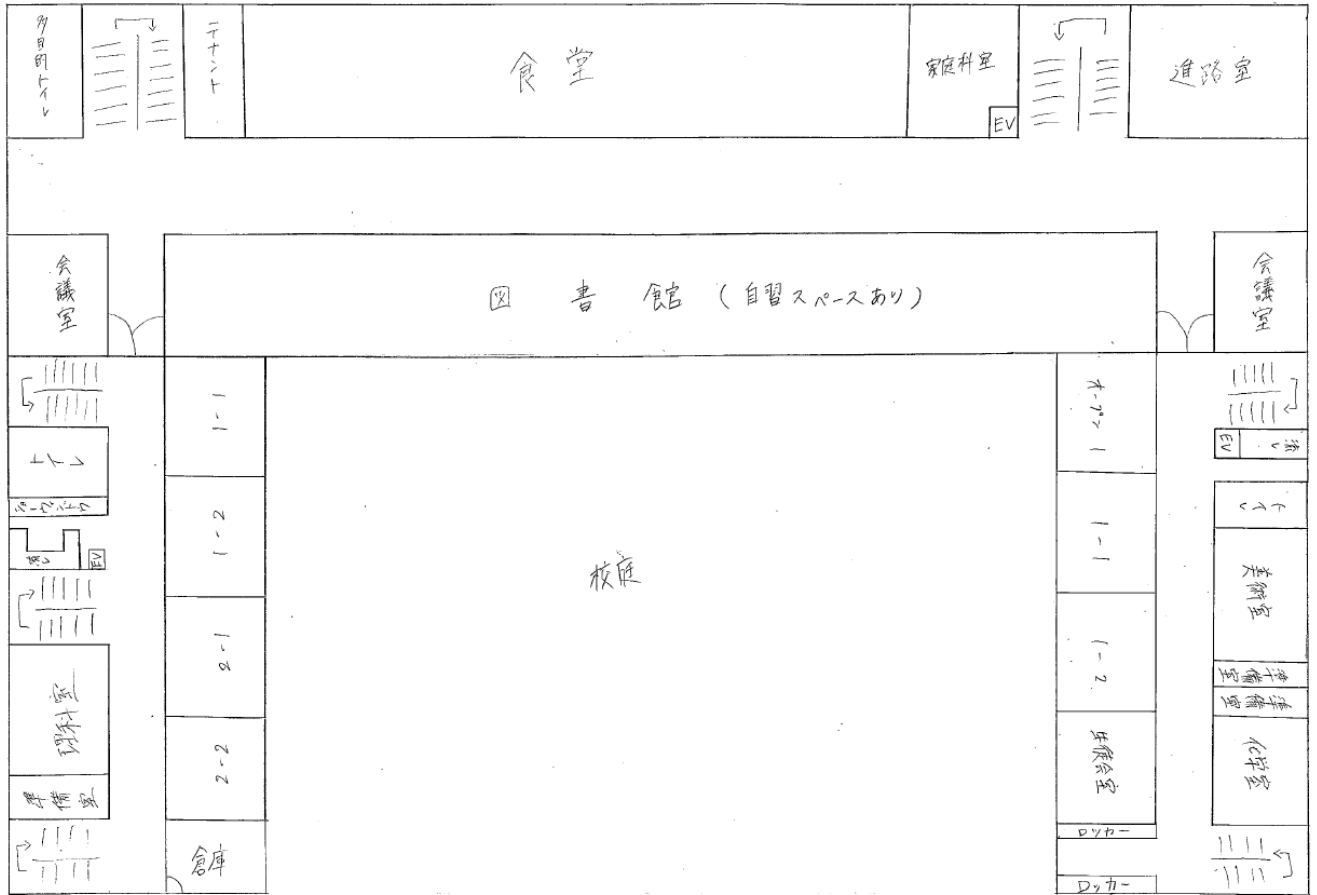




## 2階

進路室は、地域の方に実際にお話を聞き、より職業理解を高めることを目的としています。

2F



図書館には休憩スペースを設けています。



## 図書館

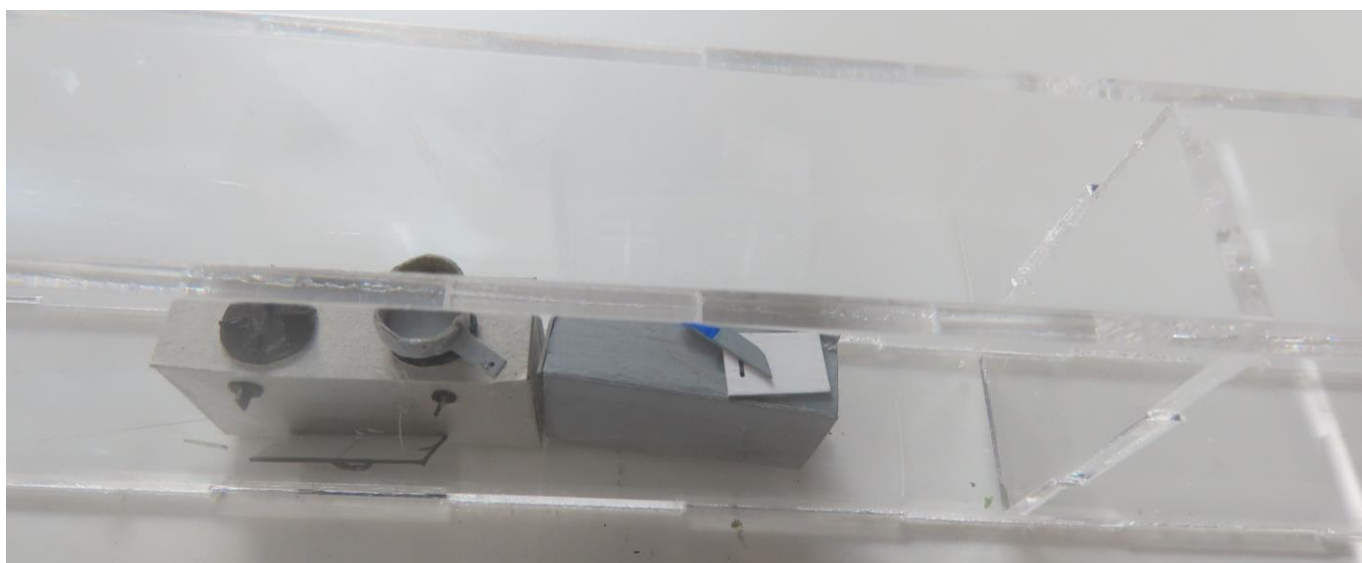


図書館は、一般利用と学校利用を想定しています。



## 食堂

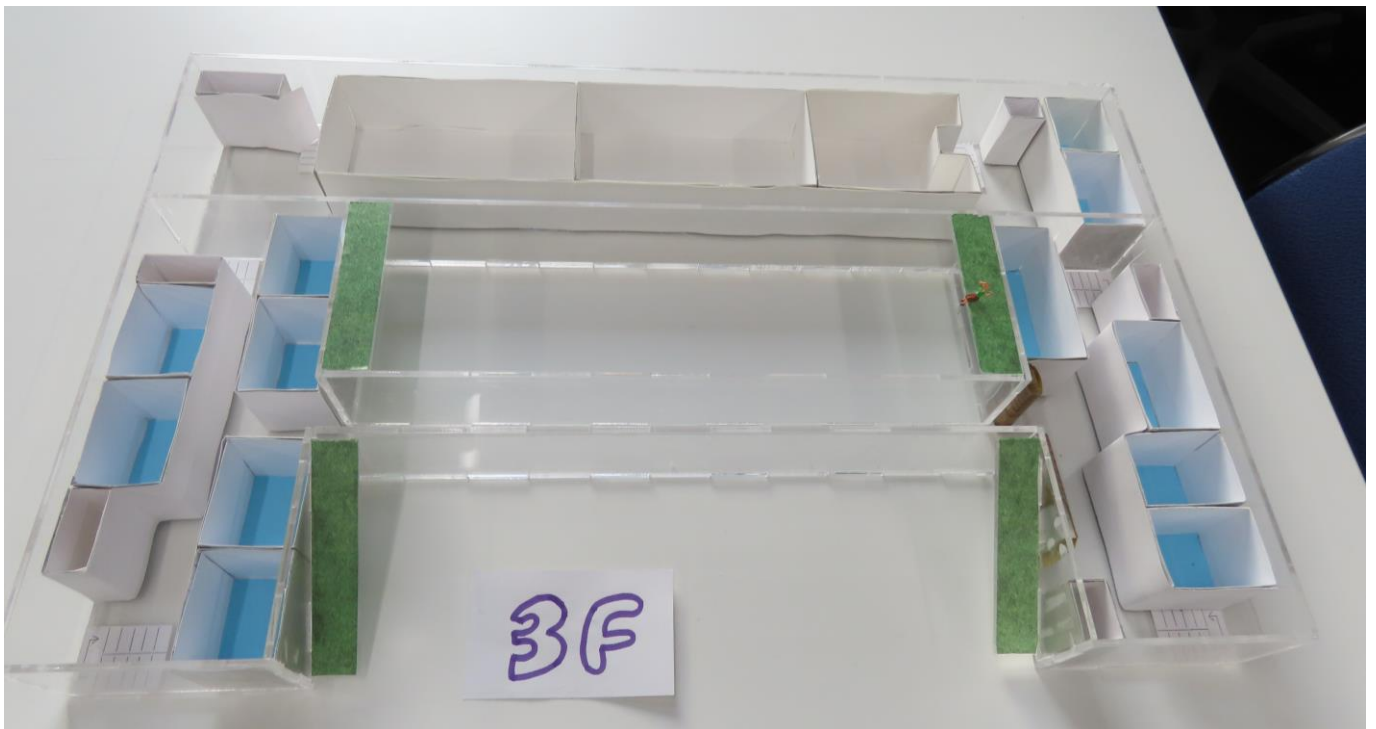
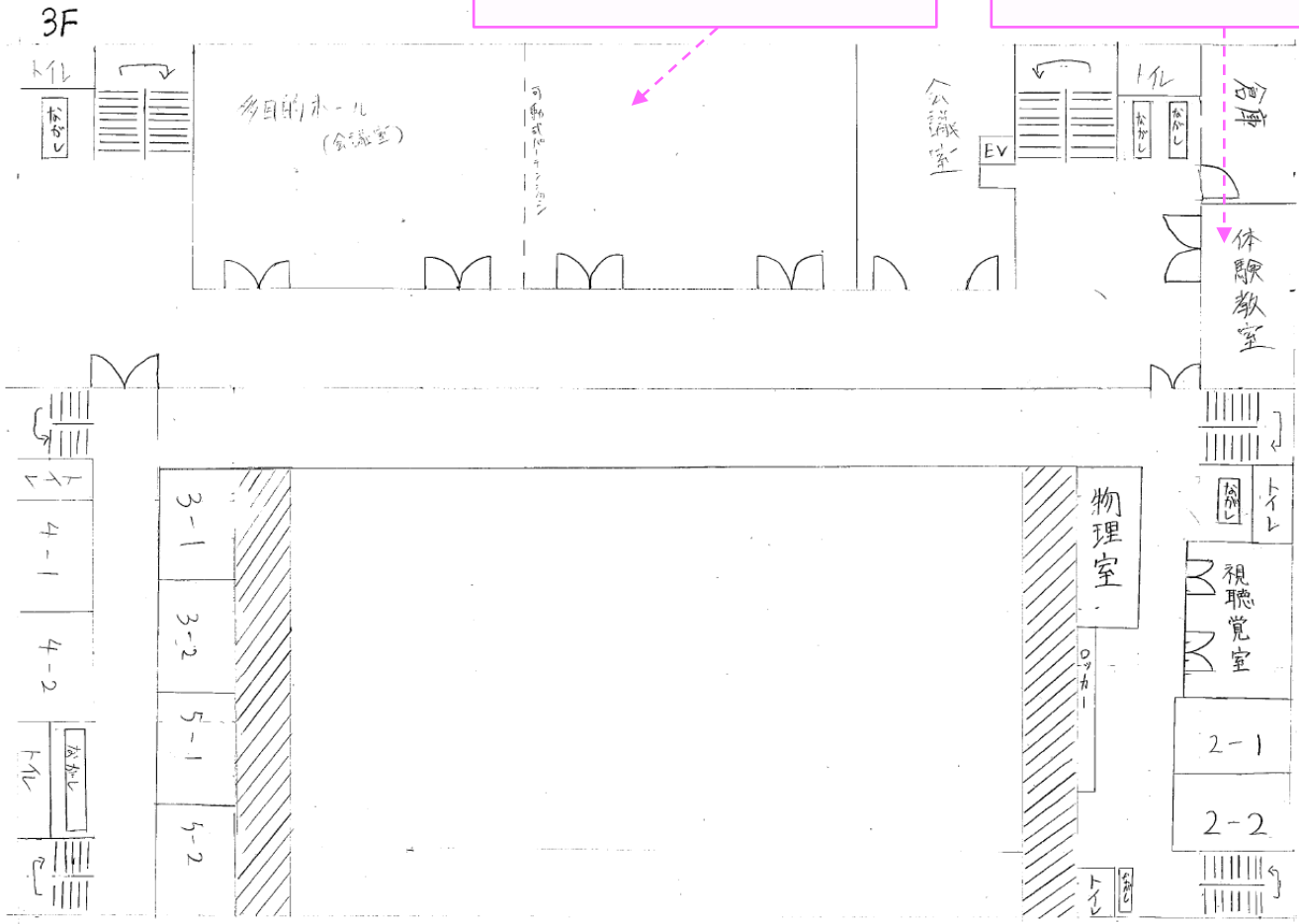
食堂は、一般利用と学校利用を想定しています。



# 3階

会議室・多目的室は、災害時に避難所として運用できるようにパーテーションをつけています。

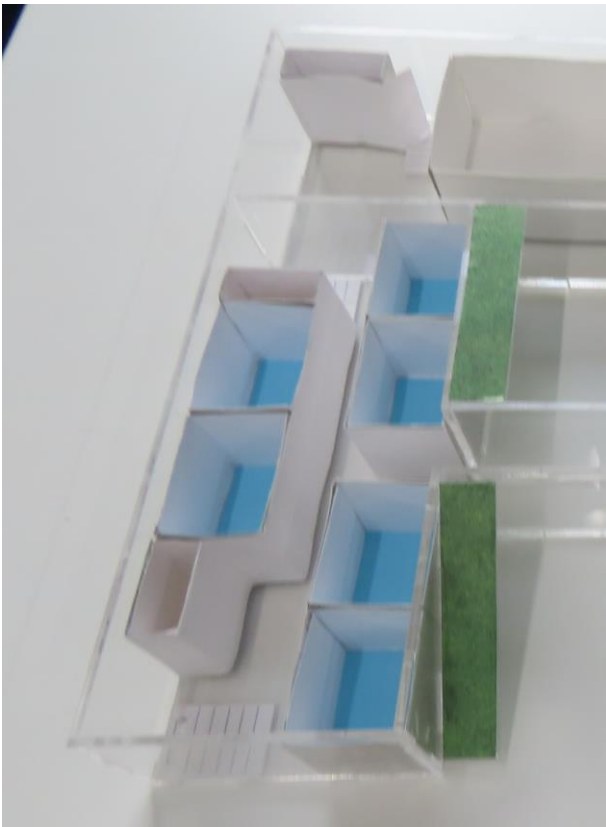
体験教室は、地域の方が先生になって体験出来るスペースになっています。



## 渡り廊下



渡り廊下は、校庭を見渡せる設計になっています。小・中学生が校舎の行き来をしやすいように設置しました。



## 教室の床

教室の床は、心理的に落ち着く色の青色系にしました。

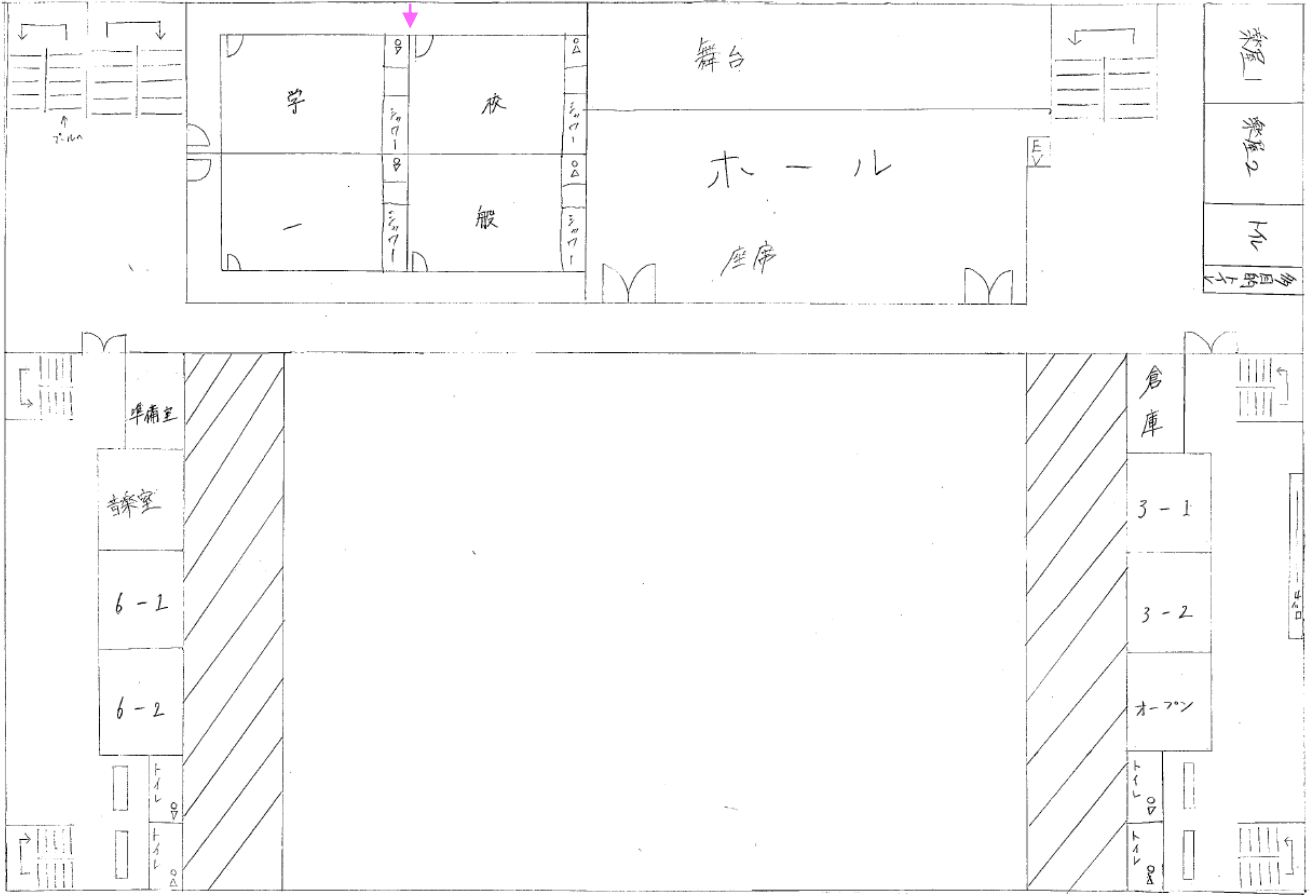
## ロッカー



4階

4F

更衣室



## ホール

ホールはステージを利用した運用だけでなく、ステージを取り外しての運用ができるように工夫してあります。



## 更衣室

更衣室は、地域の方と学校の利用エリアを完全に分けることで安全性を確保しています。

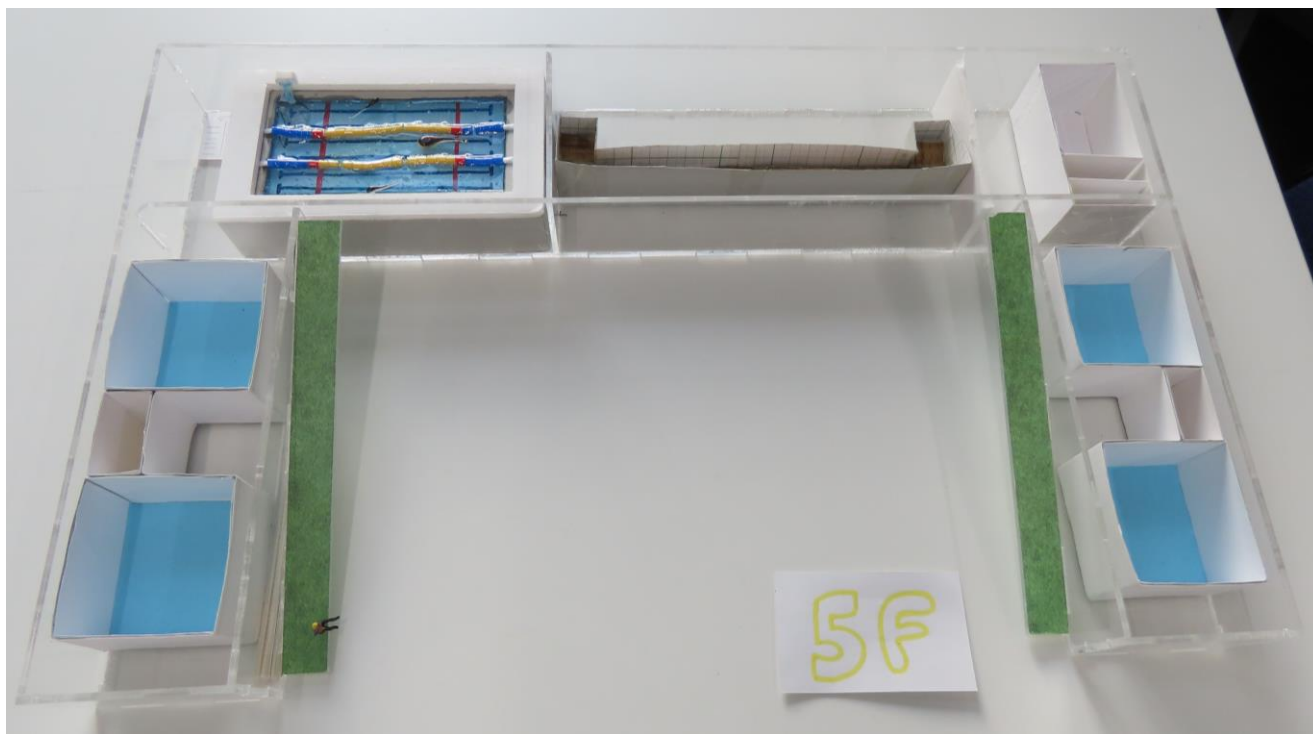
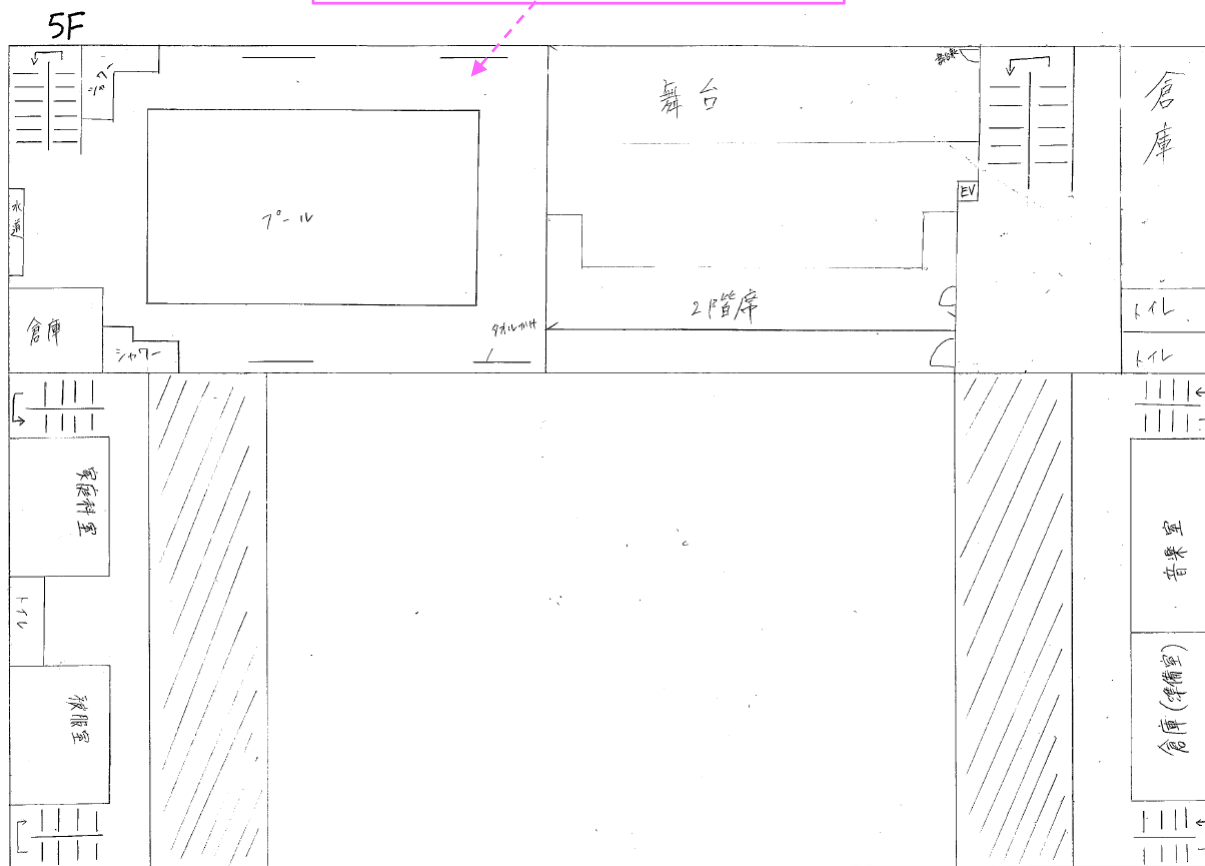
## トイレ

トイレの床は、男子は青、女子は赤など固定概念をなくし、どちらにも当てはまらない色の黄色にしました。



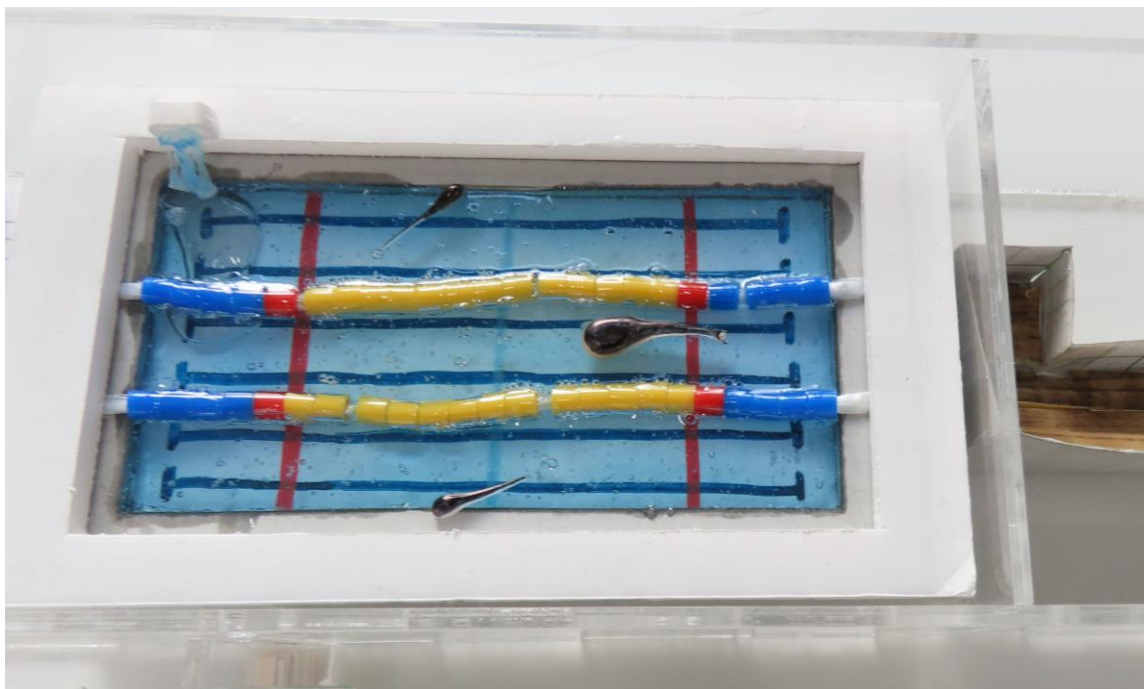
5階

室内プールにすることで天候に左右されず使えるようにしました。  
また日焼け対策にも配慮しました。



## プール

プールの水は、レジンを使用して水を再現しています。



## ホールの2階席

4階にあるホールは、5階まで吹き抜けており、5階に一部2階席があります。





## 6 展示パネル

市民会館及び市役所の展示の際に使用したパネル資料の一覧となります。

### ◆地域懇談会概要説明

## 地域懇談会

### 福生の公共施設を考えよう

未来の学校施設を小・中・高校生に考えてもらいました！

#### ①公共施設とは？

市民の皆さんが生活に結びついたサービスを受けられるように整備された施設のことです。市では、これらの施設を皆さんが安心・安全に利用できるよう維持管理・運営を行っています。

#### ②老朽化が進んでいます。

■市の98の公共施設のうち約3分の2が建築されてから30年以上が経過

#### ③多くの費用がかかります。

■今後40年間に施設の改修が集中  
■更新費用が年間6.8億円から約2倍に

#### ④大幅な人口減少が予測されています

■約40年後には現在の3分の2の人口になる可能性も

#### ⑤計画的な取組を行います


費用を押さえながら施設の寿命を長くする「**長寿命化**」

1つの施設を複数の目的で利用するなど、今まで以上に便利な施設にする「**複合化・集約化**」

人口減少や少子高齢化により、求められるニーズに合わせながら、公共施設を再配置する「**施設の再配置**」

#### ⑥学校施設が今後の核を握るか…

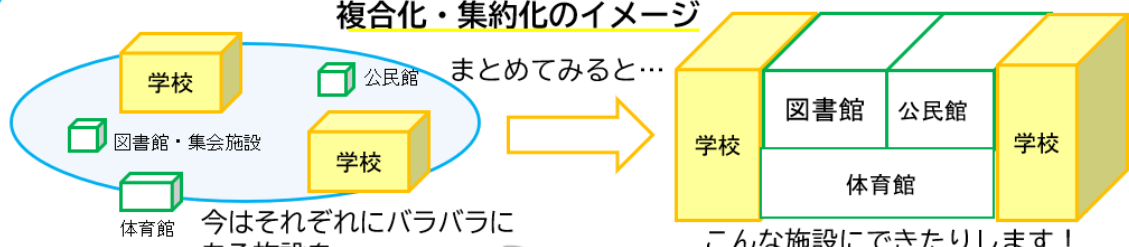
■福生市の公共施設の約4割が小・中学校  
■児童・生徒数も減っていることから現在の学校の数についても考えていく必要があります。



#### ⑦学校施設を中心に再配置を行うと… 関連：投票①

### 複合化・集約化のイメージ

まとめてみると…



今はそれぞれバラバラにある施設を…  
こんな施設にできたりします！

関連：投票②  
地域懇談会では…

福生市では市民の皆様と、今後の公共施設について意見交換をするため、地域懇談会を開催しています。  
令和5年度及び令和6年度は現在学校を使用している小・中・高校生たちが「未来の学校施設」について検討し、作品を作成しました！


#### 令和5年度

「ふっさっ子が考える未来の学校～こんな学校があればいいな～」をテーマとし、市内小・中学校、都立福生高校、多摩工科高校の児童・生徒で構成した班ごとに未来の学校モデルを作成。

#### 令和6年度

「ものづくりの視点と学校施設」をテーマとし、都立多摩工科高校ハンドメイド部員による未来の学校施設（模型）を作成。

学校施設が地域コミュニティの核となることを期待します



## ◆令和6年度地域懇談会概要

☆多摩工科高等学校ハンドメイド部よりメッセージをいただきました☆

### R6地域懇談会

## 福生の **公共** **施設** **ハコ** **モノ** を考えよう ものづくりの視点と学校施設

令和5年度地域懇談会では「ふっさっ子が考える未来の学校～こんな学校があればいいな～」をテーマとして、学校施設を現在使用している児童生徒による「ユーザーの視点」に基づいた様々なアイデア等を出してもらいました。

令和6年度は「ものづくりの視点と学校施設」をテーマとして、ものづくり産業の未来を担う生徒の「つくり手としての視点」による学校施設を検証しました。日頃の活動でも「ものづくり」を実施している都立多摩工科高等学校ハンドメイド部員が「未来の学校施設」の模型を作成しました。

ワークショップの様子

作品制作にあたりワークショップを4回開催しました！



～ 都立多摩工科高等学校ハンドメイド部よりメッセージ ～

#### 【作品の押しポイント】

未来の学校複合施設に求められるポイントとして『地域との交流』・『施設利用者の多様性』・『自然との共生』を重視してコンセプトモデルを作成しました。

学校複合施設の形状として、特殊な形を少なくすることで建築費の削減や、将来の修繕費削減を意識しています。

#### 【制作にあたって苦労したこと】

令和5年度地域懇談会のアイデアを、将来の学校施設に採用し、実現できるように考えたことです。また、平面図から立体モデルを作成するのはとても苦労しました。

#### 【制作を終えて】

今回このような貴重な経験をしたことで、普段何気なく利用している学校施設や公共施設について改めて考え直す機会となりました。

普段学校では工業や環境に関する勉強をしているので、建築に関する知識に疎いのです。そのため、建物の設計や公共施設、学校施設に求められる設備を考えることがとても新鮮でした。

## 7 投票パネル

市民会館及び市役所の展示の際に実施した投票パネルと結果の一覧になります。

### 投票①

#### ◆投票パネル

#### ☆☆投票①☆☆ご協力お願いします

☆次の公共施設は、学校施設との複合化・集約化にそれぞれどのくらい適している（効果がある）と思いますか？

それぞれの施設について、あなたの考えに近いマスにシールを貼ってください。

対象施設（機能）	適している（効果がある）	どちらともいえない	適していない（効果がない）
図書館			
児童館・学童クラブ			
体育館			
プール（温水プール含む）			
公民館			
市民会館			
地域会館			
保育園・幼稚園			
高齢者施設（デイサービス・福祉センターなど）			

## ◆投票結果

対象施設（機能）	適している（効果がある）			どちらとも言えない			適していない		
	合計	市民会館	市役所	合計	市民会館	市役所	合計	市民会館	市役所
図書館	24	16	8	2	2	0	0	0	0
児童館・学童クラブ	21	16	5	4	2	2	0	0	0
体育館	20	11	9	0	0	0	0	0	0
プール（温水プール含む）	25	17	8	1	1	0	2	0	2
公民館	8	7	1	6	2	4	8	5	3
市民会館	6	4	2	3	1	2	6	4	2
地域会館	15	7	8	2	2	0	4	3	1
保育園・幼稚園	14	12	2	6	3	3	0	0	0
高齢者施設（デイサービス・福祉センターなど）	7	7	0	5	2	3	9	4	5
合計	140	97	43	29	15	14	29	16	13

「適している（効果がある）」との回答があった上位3施設は、「プール（温水プール含む）」、「図書館」、「児童館・学童クラブ」でした。

「どちらとも言えない」と回答があった上位3施設は、「公民館」、「保育園・幼稚園」、「高齢者施設」で、「適していない」と回答のあった3施設は、「高齢者施設」、「公民館」、「市民会館」でした。

## 投票②

### ◆投票パネル

#### ☆☆投票②☆☆ご協力お願いします

☆令和5年度及び令和6年度の地域懇談会で小・中・高校生が考えた未来の学校施設（機能）について、「ぜひ実現してほしい」と思うアイディアにシールを貼ってください。

##### 学習活動を充実させる機能

- 室内温水プール
- 防音機能のある音楽室
- おしゃれな図書館
- 屋上菜園
- 動物飼育スペース
- 養蚕場
- プラネタリウム
- 映画館
- ジム利用できる体育館

##### 環境・バリアフリー

- 太陽光パネル
- 木材利用
- エレベーター

##### セキュリティの確保

- 学校エリアと開放エリアに分ける
- セキュリティ技術の活用（ICカードで入退室、AI顔認証システム導入）

##### 地域の暮らしに賑わいと安心を

- スーパー・コンビニ
- 保育所
- 温泉・大浴場

##### 災害対応

- 食堂・コンビニを活用した食料備蓄庫
- 動物飼育スペースをペット同行避難に活用

## ◆投票結果

### 学習活動を充実させる機能

- 室内温水プール
- 防音機能のある音楽室
- おしゃれな図書館
- 屋上菜園
- 動物飼育スペース
- 養蚕場
- プラネタリウム
- 映画館
- ジム利用できる体育館

	市民会館	市役所
<b>25</b>	16	9
<b>8</b>	5	3
<b>8</b>	3	5
<b>14</b>	8	6
<b>10</b>	8	2
<b>5</b>	4	1
<b>9</b>	6	3
<b>9</b>	4	5
<b>4</b>	2	2

### 環境・バリアフリー

- 太陽光パネル
- 木材利用
- エレベーター

	市民会館	市役所
<b>16</b>	11	5
<b>12</b>	5	7
<b>16</b>	10	6

### セキュリティの確保

- 学校エリアと開放エリアに分ける
- セキュリティ技術の活用（ICカードで入退室、AI顔認証システム導入）

	市民会館	市役所
<b>14</b>	8	6
<b>17</b>	14	3

### 地域の暮らしに賑わいと安心を

- スーパー・コンビニ
- 保育所
- 温泉・大浴場

	市民会館	市役所
<b>13</b>	7	6
<b>6</b>	4	2
<b>6</b>	4	2

### 災害対応

- 食堂・コンビニを活用した食料備蓄庫
- 動物飼育スペースをペット同行避難に活用

	市民会館	市役所
<b>22</b>	16	6
<b>15</b>	10	5

「ぜひ実現してほしい」上位5項目は、「室内温水プール」、「食堂・コンビニを活用した食料備蓄庫」、「セキュリティ技術の活用」、「太陽光パネル」、「エレベーター」でした。



## 8 さいごに…

☆多摩工科高等学校ハンドメイド部の皆様ありがとうございました☆

地域懇談会参加の皆様（敬称略・五十音順）

石井 風花	石田 唯菜	伊藤 啓太	宇佐美 怜奈	牛谷 唯花
小笠原 瑠	粕谷 姫香梨	加藤 美優	川島 藤士丸	倉股 一輝
佐藤 碧音	末岡 勇真	田中 琉偉	西沢 瀬那	野島 臣
松本 翔	三島 由貴	茂木 琥巴久	森田 七珠	柳美澤 鈴緒
横山 結柊	吉野 葵			

ハンドメイド部顧問 小山 涼 先生、井上 菜乃 部活動指導員



令和6年度の地域懇談会では「ものづくりの視点と学校施設」をテーマとして、多摩工科高等学校ハンドメイド部の皆様とのワークショップを開催し、「未来の学校施設」を制作いただきました。

完成した作品（模型）は、児童・生徒や公共施設の利用者に配慮した現実性のある小中一貫校であり、地域の拠点となる複合施設でした。多摩工科高等学校ハンドメイド部の皆様、顧問の先生方、素晴らしい作品を制作いただき、誠にありがとうございました。

福生市では今後の公共施設につきまして、多くの関係者の皆様方と意見交換を進めさせていただき、より良い公共施設の姿を目指していきたいと考えております。

地域懇談会の際に出た意見やアイデア等については、公共施設再編の検討をしていく際に活用していきます。今後も福生市の公共施設についてご意見をいただきたく、よろしく願いいたします。





令和6年度地域懇談会実施報告書

発行 令和7年2月

編集 福生市企画財政部公共施設マネジメント課